大原山報

辰年に願う

山主　二橋　信玄

明けましておめでとうございます。

御佛の無量壽無量光のもと、お元気にて、新春をお迎えの事と、心よりお喜び申し上げます。

皆様には西福寺護持興隆の為に物心両面に亘るご理解ご協力を賜り有り難く厚く御礼を申し上げます。

三年前より粛々と準備を進めてまいりました『令和の大修復事業』の工事が昨年の年明けより、本格的に始まりました。今年四月頃より御影堂をスッポリ覆う巨大な覆屋・素屋根が組み立てられます。西福寺境内の景色も一変し、愈々大工事が目に見える形となってまいります。

御影堂修復工事に引き続き、庫裏・大玄関修復工事（総工費二十八億円）に伴い、その間には補助金対象外でありますが、長年懸念でありました瑞芳軒の建て替え工事（約一億円）が必要です。

西福寺の長い歴史上かってない大事業でありますれば、佛天のご加護を信じ、大願成就を願い、令和の大修復事業完遂の為、寺檀関係者一同一丸となって全力で邁進せねばなりません。檀信徒有縁の皆様には、何卒倍旧のご理解とご懇志・引き続き募財のご協力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

※越の秀嶺　西福寺

勅願所　骨仏の寺

勝運の寺

令和六年は辰年（十二支の龍）。お寺で龍の絵や彫刻をしばしば見かけるように、龍は佛教の守護神でもあります。何でも叶えてくれるという「如意宝珠」を持っており、龍は天高く舞い上がり、驚異的な能力を備えていると申します。

龍はお釈迦さまの教えにより救われ、佛教の守護神となった八部衆の一員として知られており、中でも八大龍王はお釈迦さまが霊鷲山で教えを説かれた時、お釈迦さまを守護して説法を聞いたと伝えられています。また、お釈迦さまがお誕生のさい、龍が甘露の雨を降らせたと言う伝説もあります。

龍は天高く舞い上がり、人々の災難を除き福を招く聖獣とされます。私共も、龍が勢いよく上を目指すが如く、今日よりは明日へと一歩でも前進するように、成長し飛躍できるよう精進していかねばなりません。

三月には敦賀市に新幹線が開通します。希望に満ちた敦賀になることを願い、更に世界各地の戦争混乱の終息の一日も早いことを念じ、希望にあふれ、景気回復好転する平安な良き年でありますことを心より祈念申し上げます。

年が改まり、心新たに謙虚な心で、余計な理屈は言わず、難儀もおかげと噛み締めて、ただ口に南無阿弥陀佛お念佛一筋の中に檀信徒の皆様と共に、新たなる日々を迎えたいと思います。

平素のご厚情を深謝し、皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、本年も何卒宜しくお願い申しあげます。

合掌

謹賀新年

山主　二橋信玄

代議員　加藤良明　花木秀実　奥田健司

総代　堂田竹男　川口光夫

世話方　山口総直　松島謙　砂合肇　川田克己　谷出紀子　保花政春　川田将夫　芝原利雄　増田健二　加藤守　加藤彰　泉正信

内役　西澤明登　中村恭子（たかこ）　鈴木正行　清水明美

※徳川御三家・御三卿、越前・会津（松平家）の方がご住職となられた寺は『秀嶺』と呼ばれる。

私たちが残す日本の宝

西福寺文化財
修復事業奉賛会
副会長　川上　究
（川上医院　院長）

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は寄付に関する税の関係がようやく整備される予定となっており、奉賛会の活動をさらに活発化しなければなりません。それぞれのお立場でこれまで以上の奮闘、努力をお願い申し上げます。

申すまでもなく、今回の西福寺の建築物の修復はひとり西福寺の為だけに為されるものではなく、それらが歴史的、文化的に貴重なだけでなく、建築史的にも重要であり、将来にわたって残していかなければならないものであるからに他なりません。即ち西福寺の建築物群は、西福寺やその檀家さんのものだけではなく、敦賀市民、福井県民、ひいては日本国民の貴重な宝であるということです。私もそのことは何と無く理解はしていたものの、今回奉賛会に関わらせて頂き、具体的な実感として理解するに至りました。微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう努力したいと思います。

私などは、ともすれば日常の忙しさにかまけて、身近な大切なものを見過ごし、忘れがちになってしまいます。家族、友人など身近にありすぎて、特に意識せず、気づかないけれども実はとても大切なものですよね。気付かなくとも、いつも助けられています。身近の範囲を少し広げてみてみるとどうでしょうか？古い時代からの芸術作品、文化財、身近にある古い建築物、旧鉄道路線、古の生活交易道路など、気がついて見ればなにかほっとするものがありませんか。先人からの贈り物ですよね。しかし一方で効率を重視し、古いものが新しいものにどんどん変わっていきます。それはそれで必要なことではあるのでしょう。しかしそれはその過程の中で、先人が作り、築き上げ、伝えてきた大切なものを、壊し、失うことにもなっています。身近にあり過ぎて、それらが実は色々と大切メッセージを出しているのに気付かず、朽ちるままになってしまったものが私達の身近に多くあります。松島にあった大和田別荘。縄間の検疫所。蓬莱町の室氏の赤レンガ住宅など今は跡形もなくなっています。様々理由があったとは思いますが、まことに残念なことです。とはいえ赤レンガ倉庫が改修され利用されていますし、旧北陸線の赤レンガトンネル群が廃線後車道として利用されていることは、全国的に注目されており、なんとか先人の遺産として踏み留まっています。西福寺建築物群の修復もその大きな流れの一つとも位置付けることができます。宗教を越えて多くの方々のご協力をお願いするところであります。

日本の昔の美術作品、工芸品、古民家など今でこそ、その価値が再認識されてきていますが、それらを主導したのは外国人の方々です。浮世絵は米国の美術館が多くの作品を収蔵していますし、伊藤若冲の日本画の評価を高めたのも米国人。民芸運動を主導したのは英国人でした。また独逸の方が古民家の再生をし、そこに日本人が住み古民家村を作っているなどの最近の例があります。それはそれで有難い事ですが、外国の方々に指摘される前に、先人の残されたものを私達自身が正しく評価する力を養っていきたいものです。西福寺の修復奉賛会活動がそういう拡がりを持つものになればと期待します。

西福寺の建築物群は国の重要文化財、即ち日本全体の宝との指定を受けており、従って修復には多大な国費が投入され、西福寺にもそれ相当の負担が求められています。しかしお寺単独では無理があります。繰り返しになりますが、西福寺の修復は先に記した如く、文化財保護、保存活動の意味が大きいと考えます。従って西福寺の関係者のみならず多くの方々に浄財を寄進して頂くことが重要と考えております。寄進して頂く方が拡大し、寄進額が目標を達するべく、力を合わせて頑張っていきましょう。

謹賀新年

奉賛会役員

会長　髙木　毅
副会長　奥井　隆
副会長　川上　究
副会長　辻　敏彦
副会長　池田　裕太郎
顧問　稲田　朋美
顧問　山崎　正昭
顧問　滝波　宏文
顧問　米澤　光治
顧問　力野　豊
顧問　北川　博規
顧問　堀居　哲郎
顧問　糀谷　好晃
参与　河瀬　一治
参与　辻　正則
相談役　神谷　保男
相談役　福辻　範彦
相談役　加藤　智二
相談役　竹中　知加士
会計監査　奥田　敏明
事務局長　加賀山　信之
事務局次長　奥田　健司
事務局次長　中井　美朗
事務局次長　中村　忠嗣
事務局次長　景山　恒典
事務局次長　松永　秀雄
事務員　松尾　智佳

宿願『令和の大修復』　勧募のお願い

西福寺修復事業積立金寄進者御芳名（七回目掲載）

R四年七月二十一日	敦賀市市野々町	二ツ矢弘子様	五万円
八月三十一日	敦賀市本町	森越　優様	三千円
十月三十一日	山形県山形市	専念寺　佐藤康正様	五万円
十一月一日	愛知県名古屋市	本田幸江様	二万円
十一月二十六日	敦賀市櫛川	倉田房雄様	五千円
R五年一月十日	滋賀県大津市	雲住寺　井野泰雄様	二十万円
一月十一日	敦賀市新和町	松本幸太郎様	一万円
一月二十七日	福井市足羽	瑞源寺　花房禅佑様	十万円
二月三日	敦賀市野神	谷口雅弘様	五万円
六月三十日	埼玉県白岡市	江越　眞様	五万円
八月二十三日	京都府伏見区	阿弥陀寺　岩井正道様	一万円
九月八日	大阪府岸和田市	浄光寺　漆原秀平様	十万円
九月十三日	愛知県豊田市	八木哲也様	五万円
九月十五日	滋賀県東近江市	西誓寺　奥村照真様	一万円
十月二日	京都府伏見区	天然寺　城平賢宏様	十万円
十月十九日	石川県金沢市	三国千秋様	一万円
十月二十三日	滋賀県東近江市	正福寺　関　正見様	一万円
十月三十一日	滋賀県東近江市	匿名の方	五万円
十一月九日	滋賀県甲賀市	匿名の方	三万円
十一月二十一日	愛知県豊田市	今井菊平様	三万円
九月十日	富山県高岡市	高野敦子様	一万円
十月二十四日		境内修復浄財	六万円
十月三十日	滋賀県	滋賀教区寺庭婦人会様	八万円
十月三十一日	愛知県豊川市	大正寺様	十万円
十月三十一日	愛知県豊田市	隨應院　木村秋代様	五十万円
十一月七日	敦賀市松島町	専安寺　吉水俊亮様	百万円
十一月九日	南越前町	向山　功様	五万円
十一月九日	敦賀市田尻	松岸寺様	四十万円
十一月九日	敦賀市江良	福傳寺様	五十万円
十一月九日	敦賀市三島	西蓮寺様	百万円
十一月十七日	愛知県豊田市	往生院様	一万円
十一月十七日	滋賀県大津市	安養寺様	五十万円
十一月十七日	愛知県豊田市	浄土院　村瀬良法様	二十万円
十一月十七日	愛知県豊田市	浄土院様	一万円
十一月十七日	愛知県豊田市	隨應院様	五十万円
十一月十八日	敦賀市山泉	慶林院様	一万円
十一月十九日	福井市	竹澤絹代様	一万円
十一月二十五日	福井市	光野　稔様	五万円
十一月二十七日	福岡県糟屋郡	泉蔵寺　岡村裕治様	十万円
十一月二十八日	敦賀市蓬莱町	定吉様	一万円

※右、御芳名を記し、西福寺修復事業に充当させていただきます。ご寄進者に対し心より厚く御礼申し上げます。

※直檀家様以外の方で、寺務所にご持参くださった方と、ゆうちょ銀行振込の方のみ掲載しております。何卒ご理解くださいますようお願い致します。（直檀家様は未掲載）

福井県地域おこし協力隊ご紹介

県外出身の**山本恵さん**が、福井県の宝としての西福寺と大安寺の発信を軸に活動されます。よろしくお願い致します。

寺務所通信

今後の行事予定

【除夜の鐘】　十二月三十一日(日)午後十一時～
一〇八で終わります

【修正会】　一月一日(月)午後二時～阿弥陀堂

【開山忌】　二月三日(土)午前十時～　仮御堂

【特別デジタルアート】　二月二十四・二十五日(土・日)
県の特別事業です
詳細は別途お知らせします

【法話の会】　三月三日(日)午後二時～　仮御堂

【春彼岸】　三月彼岸中

※コロナ禍の状況により各法要行事等の変更がある場合があります。西福寺ホームページと合わせてご覧ください。

【各種教室】

◎書道教室：井上白紗
月2回週末
一回千円

◎ヨガ教室：川島香
第二・四金曜
一回千円

◎華道教室：甫里定榮
第二・四木曜
月謝二千円　花代各千円

修復工事関係者定例打合せ
11月29日

滋賀教区寺庭婦人会の皆様と10月30日

隨應院檀信徒の皆様と11月17日

西福寺
奉賛会
ライン
インスタ

作：松尾佑一

若狭湾ルート推進協　外国人招きツアー　県など

台湾人、英国人ら

嶺南6市町の街中巡る

福井新聞掲載11月14日
観光庁・国交省が進めるインバウンドの対応

二重に虹がかかった後に池にも映り込んで輪に見える瑞兆　10月10日

編集兼発行人・二橋　信玄
発行所・敦賀市原十三-七　西福寺寺務所
電話・(0770)22-3926
FAX・(0770)22-4989
メール・saiafukuji@clock.ocn.ne.jp

西福寺のメールアドレスが変わりました。